

# 津市民歌「このまちが好きさ」

作詞・作曲／村田幸一 補作詞／津市民歌を考える懇話会

♩ = 106

intro F

Gm Bb C7 F

(1) そし てぼくはおとなになっ て この まちにもどってきた

C Gm Bb C7 F

よ かい さつをぬ けると なつかしいに おいがし た

F

せか いいちみじかいなまえ の この えきのまわり  
たらしい みなとに は ひこ うじょうへとむかうふ

C Gm Bb C7 F

は ん ね ん さん ん ばしをあるくと みらいへのゆ めがふく らむ

Bb Bbm F

しょうてんが い の アーケード から フェニックス どおり  
ふ き わたる か ぜ が つ な ぐ まつりの にぎわい

D7 Gm GmM7 Gm7

へ に たくさんの おもいで と えがおが あふれて  
たくさんの ふれあい と えがおが あふれて

C7 F

る このまち でうま れ このまち でそだっ  
このまち にであ い このまち でくら

Gm Bb Gm7 C7 F 1. C7

た す やっぱりぼ くは このまちがす き さ (2)あ

2. C7 (間奏) F

C Gm Bb C7 F

Bb Bbm F

いつの ひにも あたたかく つつんでく れ

D7 Gm GmM7 Gm7

る このふるさと みんなの やさしさがす き

C7 F

さ このまち にであ い このまち でくら

Gm Bb Gm7 C7 F D7

す やっぱりぼ くは このまちがす き さ

Bb Gm7 C7 F (後奏)

やっぱりぼ くは このまちがす き さ

Gm Bb C7

F

津市民歌「このまちが<sup>す</sup>好きさ」

作詞・作曲 村田 幸一

補作詞 津市民歌を考える懇話会

(1)

そして<sup>ぼく</sup>僕は<sup>おとな</sup>大人になって  
このまちに<sup>もど</sup>戻ってきたよ  
<sup>かいさつ</sup>改札を<sup>ぬ</sup>抜けると<sup>なつ</sup>懐かしい<sup>にお</sup>匂いがした

<sup>せかい</sup>世界一<sup>い</sup>短い<sup>なまえ</sup>名前の<sup>えき</sup>この<sup>まわ</sup>駅の<sup>まわ</sup>周りは  
<sup>むかし</sup>昔<sup>とは</sup>はずいぶん<sup>か</sup>変わってしまったけど

<sup>しょうてんがい</sup>商店街の<sup>アーケード</sup>から<sup>フェニックス</sup>通りへ<sup>どお</sup>  
たくさんの<sup>おも</sup>思い出と<sup>で</sup>笑顔が<sup>えがお</sup>溢れてる<sup>あふ</sup>

このまちで<sup>う</sup>生まれ このまちで<sup>そだ</sup>育った  
やっぱり<sup>ぼく</sup>僕は このまちが<sup>す</sup>好きさ

(2)

<sup>あた</sup>新しい<sup>みなと</sup>港には<sup>ひこうじょう</sup>飛行場へと<sup>む</sup>向かう<sup>ふね</sup>船  
<sup>さんぼし</sup>栈橋を<sup>ある</sup>歩くと<sup>みらい</sup>未来への<sup>ゆめ</sup>夢が<sup>ふくらむ</sup>ふくらむ

<sup>ふ</sup>吹きわたる<sup>かぜ</sup>風が<sup>まつ</sup>つなぐ<sup>まつ</sup>祭りの<sup>にぎわい</sup>にぎわいに  
たくさんの<sup>ふれあい</sup>ふれあいと<sup>えがお</sup>笑顔が<sup>あふ</sup>溢れてる

このまちに<sup>であ</sup>出会い このまちで<sup>く</sup>暮らす  
やっぱり<sup>ぼく</sup>僕は このまちが<sup>す</sup>好きさ

いつの日にも<sup>あたた</sup>温かく<sup>つつ</sup>包んでくれる  
この<sup>ふるさと</sup>故郷 みんなの<sup>やさ</sup>優しさが<sup>す</sup>好きさ

このまちに<sup>であ</sup>出会い このまちで<sup>く</sup>暮らす  
やっぱり<sup>ぼく</sup>僕は このまちが<sup>す</sup>好きさ  
やっぱり<sup>ぼく</sup>僕は このまちが<sup>す</sup>好きさ